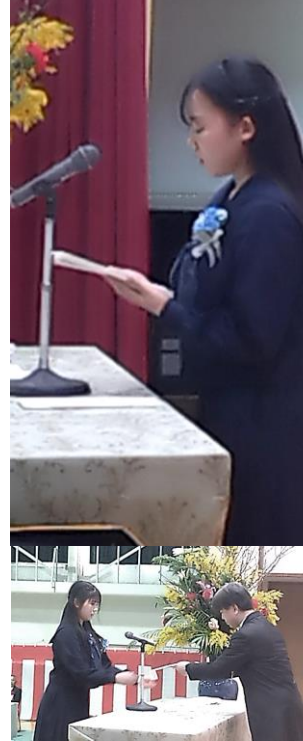


3月1日(金)、令和5年度卒業式が厳かに挙行され、3年生24名がそれぞれの思いを胸に新たな道へと旅立ちました。在校生一同、先輩方のこれからの活躍を祈っています。

答辞

竹中 楓



スの中の一人ひとりが、自分のできることを精一杯やっていたことです。絵を描くのが得意、小道具を作るのが得意、場を和ませるのが得意、それまでの約二年半一緒に過ごしてきた仲間もたくさんあった。みんなの「得意」をたくさん見つけることができました。そして、それが重なり合うことによって、一人が考え動くだけでは作り得なかったカフエを作り上げることができました。(中略)一人ひとりの得意なことを活かして貢献しようとするこのクラスは素晴らしいと再認識しました。(中略)

私達はこの日から窪川高校を卒業し、一人ひとり全く違う道へと進むこととなります。寂しく、まだ、明日からも教室に行くと友人の笑顔と、思いやりが溢れる先生の優しい眼差しのある教室が待っているのではないかと思います。ですが、この旅立ちの一つのチャンスとしてこれから踏み出していきます。

最後になりましたが、これまで私たちを支えて下さった全ての方に改めて御礼を申し上げますと共に、窪川高等学校の益々の発展を祈念して答辞とさせていただきます。

例年にならない暖かな日が続いた冬を越え、気づけば春の穏やかな風を感じる季節となってきました。本日は私たちが二十四名のために、このように心温まる卒業式を挙行していただきましたことに、卒業生を代表して深く御礼申し上げます。(中略)

私が一番印象に残っている思い出は、二年次の修学旅行と今年度の文化祭です。(中略)

修学旅行で行ったお野祭市場では、関西大学と謝野ゼミ、町役場を中心とする多くの地域の方々の応援・協力も相まって四万十町産野菜のPR販売をしてみました。これまでと違う環境で多くの人と出会い、関わり、「ありがとう」と言われた経験は、全員にとって初めての経験であるとともに、一人ひとりの自信へと繋がりました。それは私自身も例外ではありません。入学前には嫌だった前にも関わらず、今、答辞を読んでいることは信じがたいことであり、自身の成長であると考えています。

そして、今年度の文化祭(中略)、三年生は不思議の国のアリスをモチーフにしたカフエをしました。高校最後の文化祭、おそろいのパーカーや買い出し、衣装作り、装飾など先生方の協力のもと、自分たちで準備したことは何を切り取っても思い出と言えます。その中でも私が一番驚いたことは、クラ



3年生の皆さん ご卒業おめでとうございます！



二年坂 STORY

さんねんざか
ストーリー

ホームマツチ開催

12月15日（金）、令和5年度ホームマツチが実施されました。体育系でバレーボール、文化系でオセロとジエンガのゲームがホーム対抗で行われました。クラスのチームが勝つと歓声も上がるなど、和やかな雰囲気の良いホームマツチとなりました。



体育系優勝
2年1H
文化系優勝
1年1H



令和5年度夢・志発表会

1月31日（水）、令和5年度の総合的な学習の時間と地域課題研究での学習の成果を発表する「夢・志発表会」が四十万会館で開催されました。1年生は、地域を知ることテーマに取り組んだ内容を、2年生は、今年度から始まった2年生を中心として作る新文化祭についての取り組みを発表しました。3年生は防災など地域課題研究でチームに分かれて取り組んだ内容や進学コースの生徒による進路選択についての話など、多岐にわたる発表が行われました。質疑応答も活発に交わされ、1年間の活動の締め括りにふさわしい発表会となりました。



発表内容	
1年	総合的な探究の時間 1年間の取り組み
2年	小さな学校が地域と協力して つくる大きな文化祭
3年	地域の課題はみんなの課題 ～1年間の取り組み報告～
	進路決定に至るまでの道のり